



2020年3月31日

各位

会社名 株式会社ケアサービス
 (コード 2425 : 東証JASDAQ)
 代表者の役職名 代表取締役社長 福原 俊晴
 問合せ先 取締役執行役員 渡辺 桂
 電話番号 03-5753-1170

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年11月5日公表しました2020年3月期（2019年4月1日～2020年3月31日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想数値の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 9,076	百万円 225	百万円 231	百万円 260	円銭 68.72
今回修正予想（B）	9,057	115	119	236	62.37
増減額（B-A）	△19	△109	△111	△24	
増減率（%）	△0.2	△48.7	△48.3	△9.2	
（参考）前期連結実績（2019年3月期）	8,906	225	230	94	25.00

2. 修正の理由

暖冬によりエンゼルケア事業は主力のエンゼルケアサービスが繁忙期である12月～2月が全国的に葬儀件数の大幅な減少が生じ、それに伴い当社の施行件数が下期計画比5%程減少し、2019年11月5日公表の通期計画（※公表時に同通期計画は上期期間を実績値に更新しております。）より売上高36百万円の減少を見込んでおります。

また一方で今冬はインフルエンザの流行が低水準で推移し、デイサービスをはじめとする介護事業は、10月～2月の期間は計画比1.2%増加する売上高水準で推移したものの、1月下旬以降、新型コロナウイルス感染症の国内における感染拡大する中、3月2日からの全国の小・中・高等学校等の臨時一斉休校、首都圏の各行政からの外出自粛要請などにより、3月以降ご利用者がサービス利用を一時的に控えられる兆候が見られ3月は計画比で3%程度の売上高の減少が見込まれることから、同通期計画より売上高15百万円の増加の着地を見込んでおります。なおフォーライフ事業では2019年12月1日に事業譲渡を完了し下期（10月～11月の2カ月間）は同通期計画より売上高2百万円増加となりました。

利益面では、売上高の減少とともに、エンゼルケア事業、介護事業ともにサービス品質の向上のため人材採用及び育成強化を継続するなど人材にかかる費用が増加し、全社的なコスト削減に最大限努めておりますが、株式会社クレアバークの訪問看護事業の譲受手続きに関する諸費用、直近の事業所閉鎖に伴う費用、消費税の追加納付の一部発生等様々な要因でコストが嵩み、同通期計画より90百万

円の経費増加を見込んでおります。

その結果、当期の連結業績は、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益、1株当たり連結当期純利益が各々前回2019年11月5日公表の予想を下回る見込みとなりました。

(注) 上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したもので、新型コロナウイルス感染症の影響は日々拡大しており、政府による自粛をはじめとする規制など今後当社グループの業績に大きな影響を及ぼす様々な要因によって、実際の業績は予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以 上